

【様式】

令和8年度学校マネジメントシート

学校名（ 松阪高等学校全日制 ）

1 めざす姿

(1)めざす学校の姿	時代の変化に対応し社会に貢献できる人材を輩出する、地域から信頼される進学校 <自主自律> 校訓である「自主自律」の精神を持ち、自ら考え、自ら行動できる人を育てます。 <知・徳・体> 校章に象徴される「知・徳・体」の調和のとれた全人的な発達を図り、地域社会の中心的な担い手となる人を育てます。 <高い志> 心豊かな人間性に立脚した「志」を持ち、高い目標を掲げて意欲的に挑戦する人を育てます。
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) ・知的な好奇心や興味を持ち、自ら考え活動する生徒 ・命と人権を尊重し、思いやりや規範意識を持つ生徒 ・国際社会で通用する能力やグローバルな視点を持ちつつ、地域社会の活性化や発展に貢献する生徒 【グラデュエーション・ポリシー】 ・以下に示す4つの力(松高力)を身に付けた生徒 ①課題解決能力 ②情報活用能力 ③コミュニケーション能力 ④挑戦する力
	ありたい教職員の姿 ・進学指導だけでなく、卒業後の社会を意識させたキャリア教育を行う教職員 ・生徒の成長を自らの喜びとするとともに、自らも成長しようとする教職員 ・働きやすい職場環境で、仕事にやりがいを感じ、いきいきと働く教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<生徒> ・学力にあったわかりやすい授業 ・進路に関する適切で必要な情報の提供 <保護者> ・進路に関する適切で必要な情報の提供 ・子どもの学力にあったわかりやすい授業 ・学校と家庭の連携(学校からのさまざまな情報提供等) <中学生> ・入学したら充実した高校生活を送ることができること ・松高生の生活や活躍(進学実績や部活動実績)の様子がわかること
----------------------------	---

		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<保護者> ・子どもが安心して通える学校 ・学校の様子を知りたい <地域住民> ・学校からのさまざまな情報提供 ・学校と交流する機会 <大学> ・入学者の獲得 <卒業生(南窓会)> ・母校の活躍 ・学校の様子を知りたい	<保護者> ・教職員との協力 ・家庭での適切な教育力 <地域住民> ・地域と交流する機会 <大学> ・体験学習などの受け入れ、出前講座の開催 <卒業生(南窓会)> ・大学生や社会で活躍する方からの生徒への助言 ・部活動等への支援
(3) 前年度の学校関係者評価など		・SSHの取組について、生徒の受け止め方や家庭での理解状況に温度差がある。 ・地域との連携をより深めていく必要がある。 ・地域から信頼される進学校として、どのような生徒を育てていくのか、人間力という観点からも検討する必要がある。	
(4) 現状と課題	教育活動	・SSHについて、令和8年度は経過措置となった。令和9年度からの認定をめざし、「質問力」の向上を切り口に、松高力(①課題解決能力 ②情報活用能力 ③コミュニケーション能力 ④挑戦する力)のさらなる育成をはかっていく必要がある。	
	学校運営等	・「質問力」の向上に向けた教員の情報共有とスキルアップを進める必要がある。 ・学校の取組のねらいや意図について、生徒や保護者に確実に伝わるような発信が求められている。 ・地域や大学等関係諸機関への発信にも注力し、外部からの支援を積極的に活用しながら、教育活動の一層の充実をはかる体制づくりを強力に推進していく必要がある。	

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	【SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の推進】 SSHを通して、国際舞台で通用する「松高力」(①課題解決能力 ②情報活用能力 ③コミュニケーション能力 ④挑戦する力)を育成するよう取り組みます。 【道徳教育】 生徒一人ひとりが命と人権を尊重し、思いやりや規範意識を持つ人間に成長できるよう指導の充実を図ります。 【キャリア教育】 進学指導に注力するとともに、卒業後の社会を意識させて将来の職業や生き方について自覚を促すためのキャリア教育を行います。
学校運営等	【地域との交流】 地域活動への参加や近隣小・中学校等との事業連携等を通して、生徒が地域との交流を深められるようにします。 【授業改善】 生徒が知的な好奇心や興味を持ち、自ら考え活動する授業の創造をめざして、より効果的な学習指導を実践することができるよう、教員が公開授業や授業研究等を通して日常的に授業改善を進めます。

	【働きやすい環境づくり】 会議や研修の精選、校務内容や分掌の見直しを行い、創意工夫を凝らした業務の効率化や総務所時間の削減など、働きやすい職場環境づくりに取り組みます。
--	--

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	・自ら学ぶ意欲が旺盛である生徒 ・大学進学等、強い進路意識を持っている生徒 ・物事に対する興味関心が強く、挑戦する気持ちを持っている生徒
--	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	令和8年度取組内容・指標	結果	備考
SSH の推進	【教務部】 SSH 企画推進部と連携し、学校設定教科「探究」の充実と生徒の「質問力」の向上に努めます。 【SSH企画推進部】 (1)「質問力」の向上をととして、松高力(①課題解決能力 ②情報活用能力 ③コミュニケーション能力 ④挑戦する力)のさらなる育成をはかり、学校設定教科「探究」の内容や進め方について PDCA サイクルの見直しや改善を行います。 (2)今後の探究活動の維持と充実(自走化)のため、地域や関係機関との多様な連携のありかたについて情報収集を行います。 (3)「質問力」の向上に向けて、生徒の現状と課題を再整理しながら、学校設定教科「探究」の評価方法等の見直しを行い、教職員の指導力を向上させます。 (活動指標:探究活動に関する教職員の学習会の実施 年 1 回以上、先進的な探究活動を行っている学校を視察し、課題解決の糸口をつかむ 年 1 回以上) (成果指標:SSH の採択)		◎
道徳教育	【生徒指導部】 (1)生徒との日常的なコミュニケーションを重ねるとともに、身だしなみ等について生徒の規範意識を醸成するため、朝の登校時にあいさつ運動と服装指導を行います。 (活動指標:登校時指導の教職員 毎日 3 名以上)		

	(成果指標:おおよその生徒が朝のあいさつを交わしている) (2)携帯・スマートフォンの適正な利用について助言や指導を行います。 (活動指標:携帯・スマートフォン教室の開催(1年次向け年1回)、全校集会時の呼びかけ 年3回以上) (成果指標:SNS 等の不適切な使用による特別指導案件0) 【人権教育推進担当】 (1)人権に関する講演会及びLHRを実施するとともに、各学年の人権学習をサポートします。 (活動指標:各学年における講演会の開催 年1回以上) (成果指標:松阪地区高人推 人権アンケート(3年生対象)「人権学習について、積極的に受けたし内容もだいたい理解できた」の割合 70%以上) (2)教職員の人権意識を高めるとともに、指導力の充実・向上を図るため、校外等での研修を含む現職教育を積極的に推進します。 (活動指標:教職員の人権教育に関する各種研修の参加 1人あたり 年1回以上) (成果指標:教職員の人権に対する意識や意欲、人権に関する知識が向上している)	
キャリア教育	【図書部】 生徒の進路実現や職業選択の参考になる資料を重点的に収集、提供するとともに、それらの利用促進に努めます。(活動指標:「未来設計コーナー」「受験対策コーナー」「学習支援コーナー」の更新 年1回以上、生徒の進路実現や職業選択の参考になる資料を受入して、「図書館だより」で周知 年8回以上) (成果指標:来館者数の増加10%以上) 【進路指導部】 (1)進路指導部及び学年団が連携して進路検討会・研修会を実施し、生徒に対する指導内容の充実を図ります。 (活動指標:検討会・研修会を各学年で4回、全体で1回以上、進路3担(推薦)会議を5回以上、2年学力・進路検討会を1回以上、1年学力・進路検討会を1回以上実施) (2)進路講話や文理別講演会を行い、今後の進路決定に向けたキャリアプランニング能力育成の機会を設けます。 (活動指標:進路講話(各学年)、文理別講演会(2年) 各1回以上) (成果指標:学校評価アンケートの「進路に関する	

	必要な情報提供は適切に行われていますか」の項目において、生徒で「そう思う」「ややそう思う」が全体の80%以上、かつ文理別講演会終了後アンケートの「講演の内容は、参考になりましたか」の項目において、「参考になった」「とても参考になった」が全体の70%以上) 【理数科】 卒業後の社会を意識させて将来の職業や生き方について自覚を促すため、大学の研究室や企業等を訪問し、高度な学問や研究を体験する機会を設けます。 (活動指標:大学での研修、大学研究室の訪問、卒業生による大学紹介などの機会 年2回以上、理数科1・2年生の大学等訪問 年1回以上) (成果指標:各種研修の満足度 70%以上)		
保健管理・	【保健部】 心身の健康の保持・増進を図るとともに、主体的に健康な生活を送ることができる生徒の育成をめざし、健康教育の充実を行います。 救急体制の充実を図るとともに、ケガや熱中症等の予防教育を行います。また、感染症予防の取組を行います。(欠席者の早期把握、手指消毒液の設置など) (活動指標:1年生対象「性に関する教育」の実施、職員対象「エピペン研修・AED 講習」実施、保健委員会だより年 7 回以上発行) (成果指標:1年生対象「性に関する教育」理解度 100%)		
教育相談	【保健部】 すべての教育活動を通して、生徒の悩みや不安の解消に向けた支援や対応を行います。また、必要に応じて、迅速にケース会議を開き、教職員間の円滑な情報共有に努めます。 (活動指標:スクールカウンセラーによる教育相談 年60回実施、教育相談だより 年5回発行)		
	【保健部】 学校敷地内の清掃美化、環境整備の徹底に努めます。 (活動指標:大掃除 年3回実施、ゴミの分別徹底) (成果指標:美化委員によるゴミ分別状況の評価 肯定的回答100%)		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
地域との交流	【生徒会】 ボランティア活動等への参加を通して、生徒と地域の交流を図ります。 (活動指標:生徒へ参加を働きかけ 年 4 件以上) (成果指標:参加生徒 年 30 人以上)		
情報提供	【総務部】 (1)本校の保護者を対象に、教育内容や子どもの学習状況について理解を深めていただくため、公開授業を行います。 (2)中学 3 年生とその保護者を対象に公開授業を行い、在校生の学習状況や学校生活を見学する機会を提供し、本校を身近なものとして捉えることができるようにします。また、松阪高校の取組と魅力を紹介する『高校生活入門講座』を実施します。 (3)生徒の校内外での活動や地域との交流活動の状況を広報するとともに、地域とのコミュニケーションを図り、信頼の構築をめざします。 (活動指標:ホームページの更新 月 1 回以上、報道機関への情報提供) (4)本校の全校生徒と保護者を対象に学校評価アンケートを実施し、学校活動全般について検討・改善等を行います。 (成果指標:生徒、保護者ともに満足度90%以上)		
授業改善	【教務部】 (1)授業やHRにおけるICT機器の活用について実践事例を研究し、積極的な活用を推進します。 (活動指標:各教科の特性に合わせた ICT の活用実践) (成果指標:ICT機器の活用率70%以上) (2)校内外向けの公開授業や授業改善に関する校内研修会、生徒による授業アンケートを実施し、授業改善、授業力の向上を図ります。 (活動指標:生徒による授業アンケートを 2 回実施) (成果指標:年度末の授業アンケートの「総合的にみて、松阪高校の授業に満足している」80%以上)		

働きやすい環境づくり	(活動指標) (1)各自が月1回以上定時退校 (2)部活動においては、「松阪高等学校部活動運営方針」に則り、適切に休養日を設定 (3)放課後の会議は、原則 60 分以内で終了 (成果指標) (1)時間外在校等時間が年 360 時間を超える教職員数 0人 (2)時間外在校等時間が月 45 時間を超える教職員の延べ人数 0人 (3)1人当たりの月平均時間外在校等時間 26 時間以下 (4)1人当たりの年間休暇取得日数 20 日以上		
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかにした改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
--------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)